



AL DIMEOLA

ELEGANT GYPSY

CONTENTS

FLIGHT OVER RIO	3
フライト・オーヴァー・リオ	
MIDNIGHT TANGO	11
ミッドナイト・タンゴ	
MEDITERRANEAN SUNDANCE	21
地中海の舞踏	
RACE WITH DEVIL ON SPANISH HIGHWAY	38
レース・ウィズ・デビル・オン・スパニッシュ・ハイウェイ	
LADY OF ROME, SISTER OF BRAZIL	47
レディ・オブ・ローマ、シスター・オブ・ブラジル	
ELEGANT GYPSY SUITE	51
エレガント・ジプシー組曲	

FLIGHT OVER RIO

フライト・オーヴァー・リオ

Music by Mingo Lewis

アルバム『エレガント・ジプシー』の冒頭を飾る、パーカッションニストであるミンゴ・ルイス作の軽快なサンバ。コード・チェンジがほぼG[#]m7とF[#]7しかなく、やはり他の凝り倒したデメオラの作品群とは違う。ここでは割と自由な空間で強力なリズム隊に支えられて弾きまくるデメオラのプレイが楽しめる。イントロは独特な雰囲気のあるベース・ラインとシンセ主体の演奏。Interludeで一気にミディアム・ファーストのサンバ・フィールが提示される。ここからはほぼギターの特権場。[A]は3つのフレーズからなるテーマ・リフ。キーがBということと、速

さに注意して歯切れよく演奏したい。[B]からギターのアドリブ。全体に臨時記号が殆どないことからわかるように、Bのダイアトニックという考え方でやはりドミナント的なフレーズなどは微塵もない。ともあれこの速さでピッキングのつぶを揃えた6連というのは並大抵のことではないが、途中5連表記の部分などさすがに怪しいものもある。このあたりは、ビートへのグリッドは大目に見て“最速”で弾くということでのいだろう。

♩ = 115

Intro G[#]m7 <Bass>

1.2.3. G[#]m7

4. G[#]m7 <Synch> E F[#] G[#]m7

G[#]m7

G[#]m7

The musical score is presented in four systems. Each system consists of a bass staff and a guitar staff. The key signature is B major (two sharps). The tempo is marked as quarter note = 115. The first system is the 'Intro', starting with a bass line in G[#]m7 and a guitar line with a 4x triplet of G[#]m7. The second system continues the guitar line with chords G[#]m7, E, F[#], and G[#]m7, including a 'Synch' instruction. The third and fourth systems continue the guitar line with G[#]m7 chords.